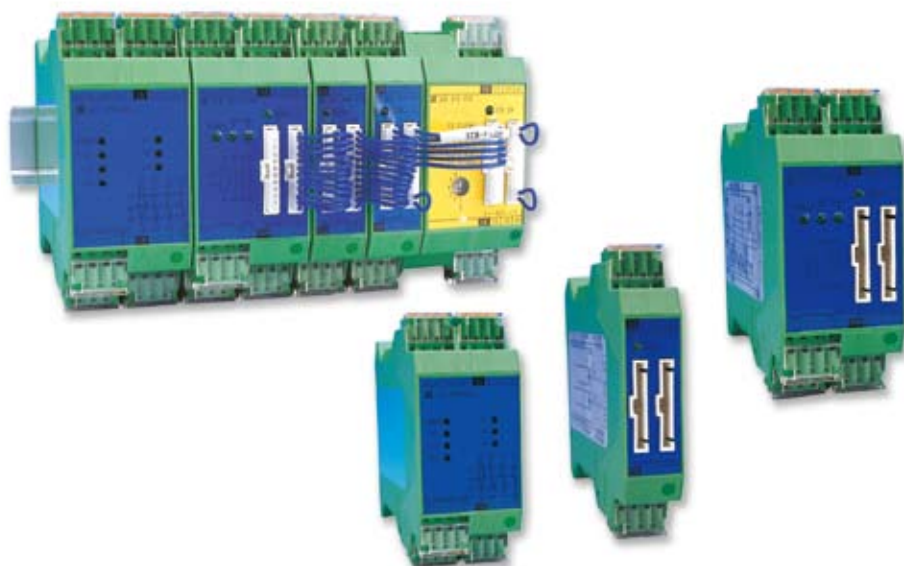


日本制禦機器 株式会社

人は間違える。機械は壊れる。
制御とネットワーク技術で
取り組む安全への挑戦

納期相談 企画力自信有 コスト相談 メインジャンル 試作可小ロット 量産対応



ネットワークで活躍する「Safety Relay Units」

「機械を安全に稼働させる」現場での課題に、制御で取り組む

ファクトリーオートメーション (FA) に利用されるリレー部品販売からスタートした日本制禦機器。設備に関わる中で生まれた「機械をどう安全に稼働させるか」という課題に取り組むべく、『マン・マシンインターフェース』をテーマに電気通信および各種産業装置の「制御機器」を中心に手掛けるようになった。

主力商品は、セーフティユニットとネットワーク関連機器。FA関係を中心に展開してきた経験を活かし、半導体、自動車製造工場や、発電、浄水場、交通網等公共施設を含む大規模設備内の管制室、監視、制御システム的设计・製作、設置、検査・メンテナンスまでトータルにサポートしている。

30万ユニット超のヒット商品
『セーフティリレーユニット』

「人を守る」視点から機械の安全稼働に対応する、それがセーフティユニットだ。各設備に合わせて、顧客のニーズを聞きながら一品ずつ造り上げる。同社の強みは、大手では叶えられない一品からでも応えられる、小回り。その対応力と開発力が武器だ。

また、自社オリジナル製品の開発、製造販売にも注力。自動車工場等における非常停止や安全柵のインターロック等、機械の電気による安全制御部分をケースの中に収めてモジュール化した『セーフティリレーユニット』は、30万ユニットを超えるヒット商品となった。安全を冠するのに欠かせないのが、規格だ。同社の製品は、日本だけでなく欧州に輸出される工作機械等にも付帯されている。日本よりも安全に対する意識が高い欧州では、規格も厳

しく、日本とはまた違った基準が存在する。同社は、各国の規格にも合わせた製品づくりを手掛けられるノウハウを要した数少ない企業であることも、特筆すべき点だ。

制御・監視・計測を叶える
ネットワーク技術

ネットワーク技術関連では、LANを通じて制御、監視、計測するシステムを開発している。生産ラインに定点観測カメラを設置し、映像データを二元管理することで工程の分析、作業の効率化、作業標準化等に役立てる『工場見える化システム』等が代表例だ。また独自ネットワークで構築された設備内において、例えば他メーカー機器では通じない言語同士を、同社の機器を介すことで共通言語に変換させる等、フレキシブルな対応を可能にしている。

今後は、FA以外での展開も検討中だ。FAで培ってきた無線、通信技術や安全対策へのノウハウを発展させたい意向だ。例えば無人空間に電気がついている等のムダを省くエコ関連、環境関係への活用をめざし、一歩先の制御・計測を担う企業へと発展していく。



『監視制御システム』では、設計、制作・検査、現地調整までトータルにサポートする

Company Profile

日本制禦機器株式会社

ISO 14001 22
ISO 9001

住所 〒569-0012 高槻市東天川1-5-1

TEL 072-661-4061

FAX 072-661-4065

設立 昭和34年10月22日

資本金 7億4,398万1,639円

従業員 108名

代表取締役社長 山下 克己

■主な事業内容

情報通信制御機器、計測制御機器、機械制御機器の開発および製造・販売、制御ユニットおよびパーツの企画、製造・販売

■主な取引先

電力会社、自治体、自動車メーカー、通信機器メーカー等

http://www.nihon-seigyo.co.jp

他社には負けない

当社のもづくり
セールスポイント



厳しい現場で鍛えられた
高品質なものづくりで一歩ずつ前進を!

代表取締役社長 山下 克己 さん

機械が停まるとラインが停まる。私達は、常にこのような大問題にさらされる厳しい現場で鍛えられてきたお陰で、質の高いものづくりに取り組んできました。この経験を活かし、確実に一歩ずつ前進できる企業をめざしております。